

令和 7 年度 第 7 回鳳来中部地域協議会 会議録

日 時	令和 7 年 1 1 月 2 1 日（金） 午後 7 時 0 0 分～午後 7 時 5 0 分	場所	市民センターほうらい 集会室 3
出席者	委員 1 9 名		
	事務局 3 名		
欠席者	3 名	傍聴者	なし
議題・議事・発言等			
1 あいさつ			
2 議事			
（1）令和 8 年度地域活動交付金事業について			
①募集要項について			
②審査基準について			
③採択審査会の実施方法について			
3 報告事項			
（1）鳳来中部文化祭について			
4 その他			
（1）第 8 回鳳来中部地域協議会			
日時 令和 7 年 1 2 月 1 9 日（金）午後 7 時から			
内容 地域協議会委員の改選に向けて			
会議内容			
第 7 回 鳳来中部地域協議会			
令和 7 年 1 1 月 2 1 日（金） 午後 7 時 0 0 分～午後 7 時 5 0 分			
1 あいさつ			
外山会長			
議事に先立ち、事務局から議事録署名人として上野亨委員と野々村整委員を指名した。			
2 議事			
○原田事務所長よりあいさつ			
(1)令和 8 年度地域活動交付金事業について			
○資料に沿って、事務局より説明。			
・項目ごとに事務局案として例年と同じ内容を事務局案としているが、本年度実施の反省を含めて修正すべき点があれば修正したい。			
①募集要項について			
・募集対象は、1 6 歳以上が 3 人以上いる団体。			
・募集の期間は、令和 8 年 4 月 1 日から 5 月 8 日までとしたい。			
・審査会の時期は、令和 8 年 6 月 1 5 日としたい。			
・交付金の上限額は、3 0 万円を上限とし、審査会後に 3 0 万円以上の予算残額がある場合は追加募集ができるとする。			
・参考意見として、募集期間について令和 4 年度までは 2 月中旬から 5 月中旬となっていたが、4 月の役員変更で代表者が変わる、募集期間が長いとガラガラするといった理由から令和 5 年度から 4 月上旬から 5 月中旬へ変更した。			
・審査の時期については、他地区では 4 月から活動できるように前年度審査を実施している所もあるが、鳳来中部でも協議したが、3 月に祭礼もあるため、負担が増えるなどの理由から現状の 6 月となっている。			
・資料 2 に地域活動交付金申請履歴、資料 3 に活動交付金採択事業一覧表をま			

とめてあるので、参考にしてご意見、ご質問をいただきたい。

【質疑応答】

特になし。

【議事】

賛成多数により、事務局案のとおりとなる。

②審査基準について

- ・総事業費が10万円未満の団体は、審査会での説明を省略できるものとする。
- ・審査の基準では、公益性、実現性、継続・発展性の観点で、それぞれ5から1点の5段階で採点する。
- ・採点方法は、各団体の採点の中で1番点数が高いものと、低いものを省いた残りの点数の平均点で採点する。
- ・採択の決定方法に関しては、今年度採択基準である平均得点30点を満たしているにも関わらず、2件の不採択が出たことは今後の活動団体のモチベーションに影響してくるということで、前回の協議会において、平均得点30点以上の事業は全て採択とすることが決定したため、予算超過分の処理方法について事務局提案をした。
- ・予算超過した金額は、各事業の申請額の割合に応じて減額をする。
- ・事務局としては、限られた申請内容の中で、公平かつ適切な審査をしていたっていると認識しているが、反省点を踏まえて協議をお願いしたい。

【質疑応答】

- ・予算超過分の処理に関する計算方法を教えて欲しい。
→採択された事業の全申請額を100%として、各事業の申請額の割合を算出する。その割合を超過した予算に割り返して、超過分の割合減額分を算出する。

【議事】

賛成多数により、事務局案のとおりとなる。

③採択審査会の実施方法について

- ・傍聴人の定数については定数を設けずに実施、発表・質問の時間は発表7分、質問3分とする。
- ・審査結果の取りまとめについては地域協議会委員のみで行い、非公開とする。
- ・団体に関与する委員については、交付金の申請者又は構成員となっている者を関係者として位置付け、関係者は自身が所属する団体の審査には加わらない。ただし、審査結果の取りまとめには参加するが、自身の所属する団体に関して意見しないとする。

【質疑応答】

特になし。

【議事】

賛成多数により、事務局案のとおりとなる。

【その他質疑応答】

- ・今年度の活動交付金では、ソフト的な事業を提案した2団体が不採択となり非常に残念だった。そういった活動は地域に受け入れがたいということか？また、地域住民がそういったソフト的な活動を理解していく転換期か？
→少しずつ地域活動団体がソフト事業で交付金申請することが増えているため転換期になってきていると思われる。今回の気持ちを次回の交付金の審査で活かせたらと思う。

- ・交付金事業の成果を誰がどのように確認をしているか。
→市が各団体の実績報告を受けている。また、実績報告を受けた内容に関しては、3月の協議会において、委員の皆さんに報告をしている。

3 報告事項

(1) 鳳来中部文化祭について

来週30日(日)に開催する。今回が初めて長篠・乗本両公民館が合同で行う大きな行事となるため、家族や地域の方に声掛けして参加して欲しい旨を説明した。

4 その他

(1) 第8回鳳来中部地域協議会

日時：令和7年12月19日（金）午後7時から

内容：地域協議会委員の改選に向けて

（終了 午後7時50分）